

林 大 の 風

第11号

高知県立林業大学校

第4回インターンシップ

基礎課程と専攻課程林業技術コースの研修生が第4回インターンシップを実施しました。今回の受け入れ先は県内計17の森林組合及び林業事業者等。

今年は暖冬の影響もあり、雪で現場が動かないという話も無く、基礎課程については2週間、林業技術コースについては1週間、充実したインターンシップとなりました。



▶四万十町森林組合でグラップル（写真手前）を操作する研修生

インターンシップ後の報告会での発表内容が、ただ日々の作業報告にならないように、研修生には何か一つテーマを設定してインターンシップに参加するように指導しています。

作業手順や安全管理、林業機械のカスタマイズについてなど、テーマは多岐にわたりますが、研修生独自の着眼点があり、報告会を聞いて勉強になることも多いです。



▶高知東部森林組合で除伐の指導を受ける研修生

今年度のインターンシップは、今回が最後となりましたが、一年を通して48の森林組合、林業事業

体、製材所及び建築設計会社に本校の研修生を受け入れていただきました。

非常に親身になってご指導いただき、誠にありがとうございました。

イノシシとれました。

～校舎近くに設置したくくりワナ～

樹海12月号で少し紹介しましたが、「林業の副業としての狩猟（仮）」を課題研究のテーマとして取り組んでいる研修生がいます。

校舎周辺を管理する森林技術センターと大平地区の皆様にもご協力いただき、校舎周辺に定点カメラとくくりワナを設置していました。

設置当初は定点カメラに動物が写らない日が続き、焦りを感じ始めていた研修生でしたが、イノシシの痕跡やけもの道を探し、定点カメラの位置を変えたりと、試行錯誤を重ねました。

途中から、米ぬか、バナナ、集魚材などの餌を用い誘因したところ、毎晩のように3匹のイノシシが定点カメラに写るようになったので、その箇所に全てのくくりワナ（10基）を集中して設置しました。

そして、設置後約2週間が経過した1月23日、ついにイノシシを捕獲しました。



▶捕獲したイノシシ

まだまだ元気いっばいのイノシシを前に戸惑う研修生達でしたが、香美市役所農林課の狩猟に詳しい方々が応援に駆けつけて下さり、イノシシの不動から止め刺しまで鮮やかな手際で処理して下さいました。

そのうえ、解体についてもご指導頂きました。突然のお願いにもかかわらず、ご対応下さった香美市役所様、本当にありがとうございました。